学校だより　NO．508
令和 8年 1月 8日
新宿区立愛日小学校

あいじつ

開校１４５周年

思いやりの心を育む

校長　水野　睦子

令和8年、２０２６年が始まりました。今年もお天気の良い元旦でした。皆様にとりまして、素晴らしい１年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年度と今年度の全校朝会で大谷 翔平選手のマンダラチャートを紹介しました。マンダラチャートは９×９マスで構成されており、一番叶えたい大きな目標を中央のマスに、周囲の８つのマスには細分化した目標を書いていきます。
大谷選手が、岩手県にある花巻東高等学校１年生の時に、高校３年生の時に叶えたい目標として中央のマスに書いたのは、「８球団からのドラフト１位指名」でした。そして、その周囲の８つのマスを見ると、「体づくり」「コントロール」「キレ」「スピード 160km/h」「変化球」「運」「人間性」「メンタル」とあります。人間性のマスには「思いやり」、メンタルのマスには「仲間を思いやる心」とあり、思いやりに関係する言葉が２つ入っています。
私は、チームメイト、野球関係者、時には敵チームの選手にも思いやりをもって行動することができる大谷選手だからこそ、日本だけでなく世界でも大活躍し、また多くの人達から応援・愛されているのだと考えます。「思いやりの心」を育むことは、本校が今年度、一番大切にしてきたことです。保護者の皆様、地域の皆様が学校の取組を応援してくださっているおかげで、子どもたちの「思いやりの心」が着実に育ってきており、それが行動となって表れています。教職員一同、大変うれしく思っています。
子どもたちが互いのよさや違いを認め合い、相手を大切に思うという「思いやりの心」を育み、みんなの笑顔あふれる楽しい学校となるよう、教職員一同「チーム愛日」として努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

保・幼・子・小連携教育について

担当　小黒　靖子

本校では３つのねらいをもって、園児との交流を通した連携教育を進めています。
①他者を思いやる心を育てる。
②コミュニケーションを図るための表現力を養う。
③自己の成長を感じ、その喜びを体験する。
９月の「なかよしの日」では、たてわり班の中心となる５・６年生が、「みんなが楽しめる遊びは何だろう」など、相手を思いやる気持ちをもって活動を計画していました。６月の「阿波踊りお囃子交流」11 月の「読み聞かせと遊びの交流」でも、園児と一緒に活動しながら、お兄さんお姉さんとして優しく接する子どもたちの姿がたくさん見られました。
１月には若竹学級と３歳児、２月には１年生と５歳児の交流を予定しています。園児と子どもたちがお互いに学び合える活動になるよう進めていきます。

書き初め展について

担当　本村　文香

最近、世の中で着実に薄れてきているもの、それは「文字を手書きすること」ではないでしょうか。パソコンで打った文字が氾濫する中、学校では手で書くことを大事にしています。それは、自分の手で書くことで文字や言葉そのものへの興味をもたせるためだけではなく、五感を研ぎ澄ませたり、調整力を高めたりするためだと考えます。紙に筆で文字を書く機会、お正月に書初めをするという機会も、日本の文化でありながらそうそう多くはありません。しかし、人の手で書かれた文字には、何とも言えない温かみ、その人らしさが現れるのも事実です。シーンと静まり返ったアリーナで繰り広げられる、自分との対話や闘い。子どもたち一人一人が自分と一生懸命向き合った頑張りのあとを、ぜひご覧ください。